

愛知県日進市における「くるりんばす」の利用実態と利用者意識に関する一考察

名城大学

杉山 優也

名城大学 正会員 松本 幸正

名城大学 学生員 伊東 裕晃

名城大学 学生員 山中 裕喜

1. はじめに

近年、公共施設への足の確保や住民のモビリティの向上などを目的として、コミュニティバスが運行されている。しかしながら、詳細な利用実態や利用者意識を十分に把握できていない場合もある。

本研究では、愛知県日進市「くるりんばす」を対象に利用実態と利用者意識を調査し、よりよいコミュニティバスあり方を検討するための基礎資料を得ることを目的とする。

2. 「くるりんばす」の概要と調査の概要

(1)「くるりんばす」の概要

「くるりんばす」は、市役所バス停を発着点とし、9便/1日/1コースで、全5コースの循環型で運行されている。運賃は100円/1乗車で、乗り換えの場合にも100円が必要である。ただし、中学生以下の子ども、65歳以上の高齢者、障害者手帳などの交付を受けている人と付き添い1名は無料である。

(2)「くるりんばす」の利用実態と利用者意識調査

「くるりんばす」利用者を対象に、バス停間 OD と乗り換え・乗り継ぎ状況を調べるための利用実態調査と、利用者意識を調べるためのアンケートを行った。調査日時は、平成15年11月6日(木)、12日(水)、13日(木)で、アンケートは12日(水)と13日(木)にバス車内で配布し、郵送で回収した。配布部数は、両日合わせて、1,100部、回収部数は返信期限の11月21日(金)時点で465部、回収率は42.3%であった。アンケートでの調査項目は、1日の交通行動、「くるりんばす」に対する満足度、改善要望項目などである。

(3)自治体担当者に対する調査の概要

愛知県内におけるコミュニティバスの運行実態、運行経緯、運行コスト、バス担当者の意識を明らかにするために、平成15年2月時点でコミュニティバスを運行していた全自治体の担当者に対して、郵送配布、郵送回収の方法でアンケートを実施した。

3. GISによる利用実態調査結果の表示

(1)バス停間 OD 分布の表示

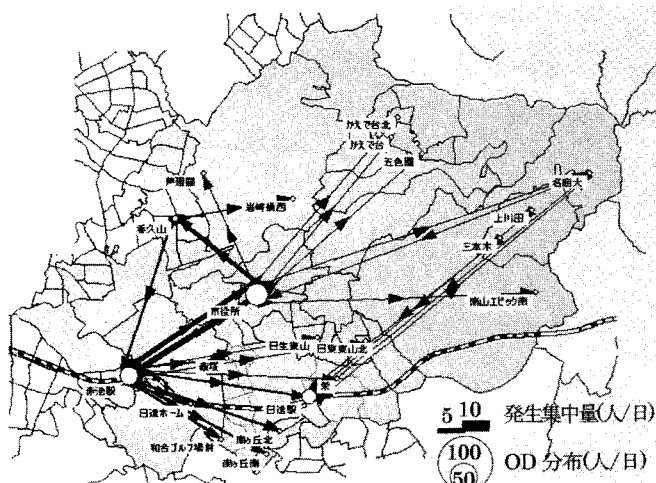


図1. 主要バス停間のOD分布

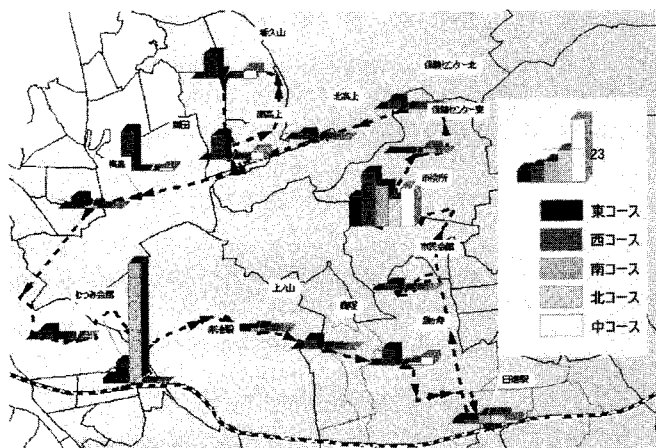


図2. 乗り換え・乗り継ぎ状況(西コース)

図1に主要バス停間のOD分布を示す。図より、鉄道駅と自宅間を往復するための交通手段として多くの人が利用していること、さらに大型スーパーが立地する香久山への交通手段として利用している人が多いことがわかった。

(2)乗り換え・乗り継ぎ状況の表示

利用実態調査より、利用者の乗り換え・乗り継ぎ状況（3日間合計）が明らかになった。図2に、鉄道駅と香久山を経由する西コースへの乗り換え・乗り継ぎ状況の結果を示す。図より、市役所で各コースから西コースへ乗り換えを行なう利用者が多く、赤池駅では南コースから乗り換えてくる利用者が多いことがわかる。また、その他のバス停では、西コースを利用した人が再度同コースを利用していることがわかる。

4. 「くるりんばす」に対する利用者意識

(1)満足度

利用者意識調査では、利用者が現在の運行形態に対してどのように感じているかを調査した。図3にその評価項目と満足度を、有料・無料利用者別に示す。図より、満足者の割合は有料利用者より無料利用者の方が全体的に高いこと、さらに、「全コース日進駅を通る」、「自宅バス停間の距離」、「運賃」の評価は全利用者の60%以上が満足していることがわかる。また、「一方向循環型」の項目については両者とも満足していないことがわかる。

(2)改善要望度

図4に利用者が現在の運行形態を見直すために、改善を要望している項目と、それらに対する改善要望度を有料・無料利用者別に示す。図より、70%以上の利用者が「同時に逆回り」、「運行本数を増やす」、「終発時刻を遅く」を希望していることがわかった。また、「バス停に雨よけやベンチ」、「低床バス」といった周辺環境整備の向上については、60%以上の無料利用者が望んでいることがわかる。

(3) 運行改善のための費用負担意識

図5に、図4の改善項目を改善するために必要な費用負担をどこですべきかを聞いた結果を示す。図より、「市と利用者が負担」と考える人の割合が高いことがわかる。これより、多少の費用を負担してでも改善が施されることを望んでおり、「くるりんばす」をより便利なものになりたいと考えている利用者が多いことがわかる。

(4) 利用者意識と自治体担当者意識の比較

利用者と愛知県内各自治体担当者にコミュニティバスを運行するにあたり何を重要視すべきかを聞き、利用者と各自治体担当者別に集計した結果を図6に示す。図より、自治体担当者は、「自治体負担の減少」「運行経費の減少」といった財政に関する項目を重要視しているのに対し、「くるりんばす」利用者は重要視する人の割合が低いことがわかる。

5. おわりに

本研究では、日進市「くるりんばす」を対象に利用実態調査と利用者意識調査を行なった。その結果、利用者のバス停間のODや「くるりんばす」に対する満足度、改善要望度が明らかになった。今後は、より詳細な分析を進める必要がある。

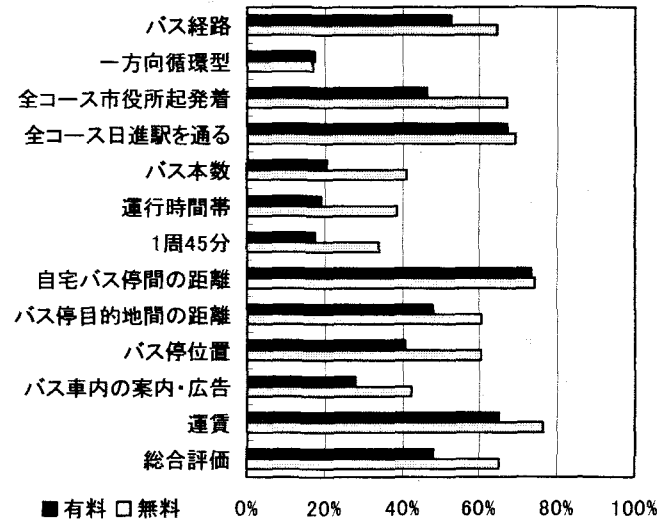


図3. 満足度(満足者/利用者)

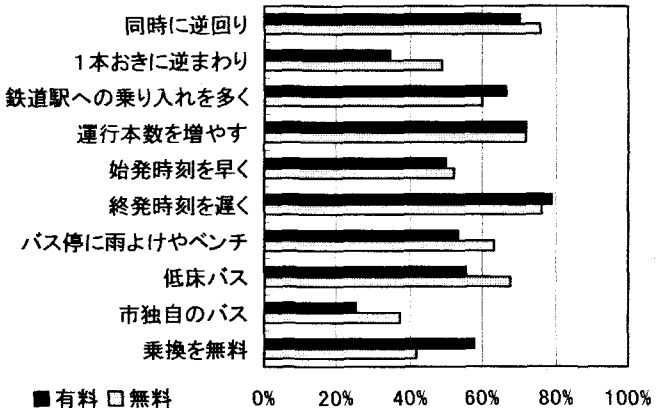


図4. 改善要望度(希望者/利用者)

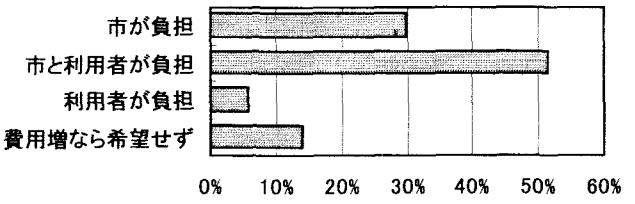


図5. 運行改善のための費用負担意識

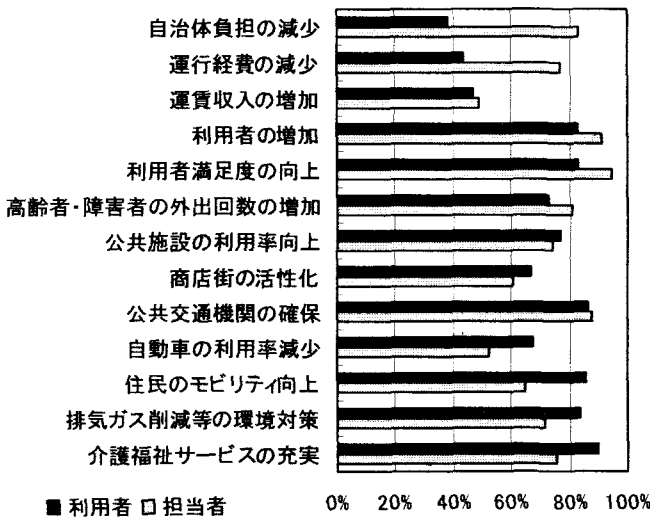


図6. 利用者意識と自治体担当者意識の比較
(重要視する人/利用者または担当者)